

★日本企業が原発を下ルコ、アフリカ首長国連邦の西国に輸出できるようにする原子力協定締結承認案が2日、衆院外務委員会、自民、公明、民主各党などの賛成多数で可決。福島第1原発事故後、日本が原子力協定に署名したのは西国が初めて。日本共産党の笠井議員は、「自国で重大事故を起こした政府が、原発を率先して売り込むなど無責任なもの」と厳しく批判。

# 旗 赤 読者のひろば

日本共産党  
砺波市委員会  
西尾 英宣  
千代180  
Tel 33-6118

## 【新砺波図書館整備計画検討委員会】

### 新図書館に望むことは？

どんな図書館を望むか？  
二十七日、第三回整備計画検討委員会が開かれ、新図書館に望むことについて、市内小中高校、市民アンケートのまとめや、委員から事前に集約

したものの（左記）をもとに活発な意見交換がされました。委員個人としてだけでなく、周りの人の意見もふまえての発言も多く、予定時間を延長するほどでした。

規模の検討・利用予測から  
公立図書館の任務と目標、図書館の設置及び運営上の望ましい基準活用  
の手引きなどから、利用予測についての参考指標も示されました。

新図書館の平成二  
四年度実績は、貸し出し  
人数四万四一五八八、貸  
し出し冊数一七万八一  
九冊、一人当たり三・八  
六冊。目標値を、一人  
当たり一五冊とすると  
人口五万人×一五冊  
＝年間七五万冊の貸し  
出し冊数と見込めます。

この委員会は開かれた  
ものですが、関心のある  
方はぜひ傍聴されればよ  
いと思います（市のホー  
ムページ等でアナウンス  
されるはずですが）  
広く市民のみなさんの  
意見も引き続き募集中！

### （資料より） 整備計画委員コンセプトのまとめ

#### 【ハード面】

1. 環境（交通機関・駐車場・駅・公園）
  - ・街が明るくなる図書館・広い駐車場、車に便利
  - ・チューリップ公園周辺・駅周辺、現在地
2. 建築
  - ・あずまだちの景観図書館（散居村ミュージアム隣接など）・ゆったりした学び舎・癒し・自然採光・エコ図書館・シンプルだけど砺波のシンボリックな建物・散居村に似合った建屋のある図書館
3. 付帯施設機能
  - (1) 飲食関係
    - ・カフェ・ご当地グルメ
  - (2) 公共施設
    - ・子育て支援センター・保育所・病院・託児施設
    - ・市役所の出張所・児童センター・文化発信施設
    - ・バス停
  - (3) 会議場、ホールなど
    - ・集会場、サークル活動の部屋・小ホール・シアター・ギャラリー

#### 【ソフト面】

1. テーマ・イメージ
  - ・和やかな交流が生まれる図書館・本を読まない人がどんどん来る図書館・何度でも来たい図書館・市民の書齋・世界につながる図書館・市民に親しまれ交流が生まれる図書館・情報発信する図書館・「発信する」「参加する」「交流する場」としての図書館・まなび（学）とみがき（研）＋心を癒やしてくれる自然＋市民コミュニティと憩いの場
2. 郷土の歴史・砺波らしさ・国際交流
  - ・砺波市コーナー・郷土史コーナー・国際交流図書・姉妹都市の翻訳パンフレット
3. 図書館機能・レファレンス・資料サービス
  - ・新鮮な図書資料・学校図書館の支援、交流と研修・サービス目標の設定・開館時間が長い図書館・図書館コンシェルジュのいる図書館・図書館コンシェルジュを育成・読み聞かせコーナー・学習コーナー・パソコンコーナー・視聴覚設備の充実
  - ・出張図書館
4. 生涯学習
  - ・美術館、資料館、散居村ミュージアム、公民館など社会教育施設と連携・市民作成絵本・図書館見学会
5. 子育て支援・親子
  - ・異世代交流・ブッククラブ・サークル活動・子どもたちで自由に学習・読み聞かせコーナー
6. 観光資源・情報発信・インターネット環境
  - ・市街地活性化の拠点・ホームページからの情報発信・インターネット予約
7. 地域・連携・ボランティア
  - ・空き家活用図書を通じて市民コミュニティ・市民の寄贈本、市街地の空き家に古本専門書・図書のまちづくりにインパクトをもたらす知恵と仕掛け・ボランティア、図書館ボランティア・地域のことがよくわかる職員の配置
8. その他
  - ・人生の節目に本を贈る・駅に図書コーナー・公民館図書館から出張図書館へ運用改善・外部顧問を交えた継続的な運営改善計画の立案と実施・商店街等とのポイント制や優待券や割引券

★みんなの党の渡辺喜美代表が化粧品販売会社ディーエイチシー(DHC、資本金3億700万円)の吉田嘉明会長から8億円を借り入れた問題。選挙に使われていけば公選法違反に、政治活動に使われていけば政治資金規正法違反になる可能性。8億円を何に使ったか、公党の党首として改めて国民に説明する責任があります。

【ただのいぶやき】

27日 市防災会議を傍聴

原発即時ゼロの政治判断をすべきと考えますが、原子力災害時の防災・避難計画について注目する必要があります。避難計画は、絵に描いた餅ではダメなわけで、「実効力ある避難計画がたてられない限り原発の存在が認められない」ということです。

新図書館整備検討委員会を傍聴(一面)

30日 江浸い

「今こそ共産等の出番やろ！」の声…私から話題をふったわけではないのに、「消費税増税なんとかしてくれ」「アベノミクスというけど給料に反映しない」「増税前に買いだめしたくて、先立つものが無い」などなど。やはり増税強行は許せません！

31日 消費税増税前夜

市内のスタンドに長蛇の行列など…「少しでも負担を少なく」という気持ち

よくわかります。「でも冷静に考えるとガソリンはせいぜい二百円くらいにしかないんだよね…ガソリン買いだめして置いとくとこるも無いし」という声も。

1日 消費税8%街頭宣伝

日本共産党が発表した「暮らしと経済を壊す消費税増税の強行に断固抗議する―大増税路線ストップ、暮らしを守るたたかいを発展させよう」に沿って訴えさせてい

ただきました。日本共産党は、消費税増税に反対するとともに、消費税に頼らないで、社会保障の財源を確保し、財政危機打開に踏み出す、別の道を提案しています。それは税財政と経済の民主的改革を同時にすすめる道です。この改革を移行に移すためには、「財界中心」から「国民の暮らし第一」へ、政治の姿勢を根本的に変えることが必要です。日本共産党は、国民と力をあわせ、日本の政治の民主的転換のために全力で奮闘します。

「武器輸出三原則撤廃」!

「新三原則」を閣議決定し、

日本が他国に武器や関連技術を輸出することが可能になってしまいました!

国会での審議も一切しないで日本国憲法の平和原則に基づく国の基本方針を一八〇度転換する、こんな重要なことを閣議で決めてよいものでしょうか?

「どんな政権も『これから戦争します』とは言わない。言わないが、気がついたときはそうなっている。国民のんきもまた、危ない」(日刊ゲンダイ四月三日付)…のんきにしていられません。

STAP細胞はあるのか?

華々しく発表され、「簡単にできる」と強調されたSTAP細胞。医療現場では、患者がその技術をアテにして治療を拒否するようなこともあるのか…(もともと、仮に本当でも実用になるまでは年月のかかる話なので、当面必要な治療はすべきです。「患者の目線」も重要ですね。これで全てがねつ造だったとすれば、社会的責任はきわめて重大です。

【続きんの日記】

1日 雪囲いを業者の方に頼んで取り外してもらいました

自分で簡単に取り外しできるようにと新調したはずなのにどうして業者に頼んだのかというところ、新調前の古材などが積んである木納屋を整理しないところが無いです。

最近使われるようになった木材を焚くストーブの燃料にもなるからと、木納屋の要らないもの引き取ってもらう話になっていたので、三月いっぱい素麺を作り続けていたら今日の日になってしまいました。

しかし問題が発生してしまいました。新調した私には以前の古い材は「要らないもの」ですが、それを暮れに組み上げ春に解く事をずっと繰り返してきてきた父には様々な記憶の染み付いた「捨てがたいもの」だったので、しかし新たな収納スペースを新築でもしなれば両方保管することができず、それは経済的に

も空き場所の問題から無理な話です。どうしたのか? 古材などを業者の方に引き上げてもらう過程に父が立会い、「おっとそれは残してくれ!」というものがあつたらその都度指摘をするが、そうでない物は無くなってしまうよ、ということまで話が付きま

た。 天気が良くほどほどの気温だったので立会も日向ぼっこみたいで悪くはなかったのかもしれない。瓦ふきをしていたからか父は職人さんの仕事ぶりを見るのが大好きです。

ところかうどん作業を終えて片付け現場に行ってみてびっくり、びっしりと「捨てがたいもの」で埋まっていた木納屋が見事にスカスカになっているのです。田畑の作業に必要な僅かなものが残っていました。父のこだわりは痕跡がありません。見違えるように片付いた光景は嬉しいのですが、こだわる力もここまで衰えているのかなと、ちょっと微妙な思いがしました。

(何でもお気軽にご連絡・ご相談ください・多田携帯 090-3369-8216)